

学校名 滑川市立北加積小学校

児童数 187名

## 1 親切運動の取組の紹介

### ① あいさつ運動

児童会(企画運営委員会)が中心となり、毎朝、あいさつ運動を行っている。給食時に心のこもった挨拶をした児童の名を放送で紹介するなどしている。毎日継続して行うことで、挨拶をすることでみんなが気分よく学校生活を送ることができると感じる児童が増え、あいさつの輪が広がってきた。2学期末には、各学級が輪番制であいさつ運動に立つ試みも行われ、全校で意識を高めることができた。今後も継続して取り組んでいきたい。



【あいさつ運動の様子】

### ② みんなで思いやりの花を咲かせよう

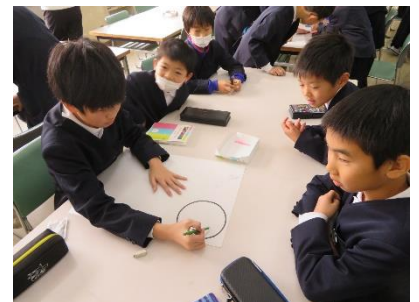
児童会のスローガンの一つ「思いやりの花」を育むために、友達のよいところを見付けたり、感謝を伝えたりする活動を行った。種を形どったミニレターに相手の名前とメッセージを記入し、玄関に設置してある「心のポスト」に投函する。放課後に企画運営委員会がミニレターを掲示し、その数によって、葉が色付き、紙でできた花が増えていく。この活動でちょっとした相手の気遣いに気付いて感謝できる児童が増えてきた。また、日々変化する掲示物を楽しみにしながら取り組むことで、友達に対する親切の輪が大きくなった。この取組をきっかけに、人を思いやることが当たり前としていきたい。



【ミニレターを貼る様子】

### ③ 縦割り班活動

集団登校や、大縄跳び、清掃活動、ジャンボカルタ製作等、学校生活の様々な場面で1年生から6年生の異学年で活動する縦割り班での活動を長年、伝統的に行なっている。上学年の児童が下学年の児童を時には励まし助け、時には見守った結果、できたことを共に喜び合う姿や、下学年の児童が上学年の児童を慕って、休憩時間に会いに行く姿が見受けられるなど、学年を超えてお互いを認め合う素地が蓄積されている。今後もお互いに協力する心や相手を思いやる心を育てていきたい。



【ジャンボカルタを製作する様子】

## 2 親切運動に取り組んで

### ・取組の成果

歴代の企画運営委員会や6年生が中心となって取り組んできた活動が、全校に浸透している。また、毎年、取組の内容をアレンジすることで、全校児童が新鮮な気持ちで積極的に活動に参加することができ、それが協力する心や相手を思いやる心の育成につながっていると考えられる。

### ・課題と今後に向けて

今後も、全校児童が自主的に参加したくなる活動や持続可能な活動を、企画運営委員会を中心とした児童が主体的に計画・実行できるよう、取組を継続していきたい。